



堅田城



主郭から北陸街道の通る河北平野を一望できる

所在地：石川県金沢市堅田町
 別称：観法寺城、岩出城
 立地：丘陵頂部、標高113m
 城主：木曾義仲、一向一揆
 時期：平安末期、戦国
 見学時間（参考）：40分～1時間

森下川右岸丘陵に占地し、西の平野部を通る北陸街道、南に越中と結ぶ小原越が通り、水運としての森下川が流れる交通の要衝を押さえる。城跡や登城道はよく整備されており、頂上の主郭からは全方位を一望することができる。



主郭西側の櫓台

城に関する古記録は、故墟考に「寿永の役木曾義仲の営跡と云い伝ふ」とあるのみである。

主郭の西側と東側の曲輪を含む主要曲輪群を鋭角の高切岸が全周を巡っている。主要曲輪群の北と西の直下に、地元では「ささら堀」と呼ばれている畝状空堀群が構築されている。高切岸と畝状空堀群を組み合わせた防御施設は同市の高尾城で見られるものと同様で、16世紀の後半に一向一揆が構築した臨時城郭と推定されている。

北方の尾根続きは大きな堀切で遮断され周回する腰曲輪状の道の一部になっている。その北側にもう1つ堀切があり、二重の堀切で尾根続きを嚴重に防御している。



登城口（墓地側）



主郭から南麓の小原越、森下川を監視する



畝状空堀群



尾根続きを遮断した堀切道

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
 北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
 〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
 TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
 E-MAIL. contact@j-sampo.com
 ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>